

平成18年度当初予算 施策別概要

231 自律的産業集積の推進

(主担当部：農水商工部)

23101	ベンチャー的活動の支援	(農水商工部)
23102	戦略的な企業誘致	(農水商工部)
23103	研究開発機能の強化	(農水商工部)
23104	産業集積基盤の整備	(農水商工部)

< 施策の目的 >

- (対象) 時代を先導する産業分野の企業や意欲ある経営を行う事業者等が
 (意図) 地域の特色を生かした自律的な産業集積を構築し、活発に事業を展開している

< 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
製造品出荷額の全国 順位	目標値	-	10位	10位	10位
	実績(見 込み)値	10位	10位	-	-

県内の第2次産業の活動実績を表す製造品出荷額の相対的な位置を示す全国順位
 (工業統計表)(16年度の実績は、17年度に発表された15年度数値に基づく順位)

< 平成18年度に残っている課題 >

創造的な企業活動を行うベンチャー企業等に対して、(財)三重県産業支援センターを中心に成長段階に応じたきめ細かな支援を行うほか、新たな事業創出に取り組む必要があります。

誘致の受け皿となる産業用地が、特に北勢、伊賀地域において不足していることから、市町、企業等と連携してその対策を講じるとともに、クリスタルバレー構想やメディカルバレー構想等の誘致戦略に沿った企業の製造施設や研究開発施設の立地を促進し、県内の企業集積と産業の高度化をさらに進める必要があります。

製造業における研究開発機能の強化を進めるため、燃料電池分野の技術開発への県内中小企業の参画拡大、実証試験と平成17年5月に採択されたNEDO(独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)の燃料電池研究開発プロジェクトとの連携による取組のさらなる深化、新たな研究開発プロジェクトの国への提案などを進めることが必要となっています。

製造業における高付加価値分野や新たな分野への転換を促進するため、新たな産業を支える人材を育成し、知識集約型産業構造の構築に向けた取組を進化させる必要があります。

< 平成18年度の施策の取組方向 >

ベンチャー企業等の成長段階に応じて、特に成長拡大に重点をおいた、きめ細かな支援策を継続的に取り組むとともに、新たな産業創出を促進していく観点から、バイオマス・エネルギー産業など産学連携による新事業創出に向けた取り組みを進めます。

市町、企業等と連携して企業ニーズに沿った産業用地の確保を図りつつ、企業立地については、企業の設備投資意欲の高いこの機を逃すことなく、県内により多くの企業立地や設備投資を誘導するため、バレー構想を軸とした戦略的な誘致活動並びに誘置活動を展開します。

燃料電池実証試験とNEDOの基礎研究との連携により、燃料電池本体及び周辺機器の開発への支援を進めることで、燃料電池分野への参画拡大と技術の高度化を図るとともに、環境と経済の両立を目指したプロジェクトを国に提案するなど、水素エネルギー社会の構築と燃料電池・水素の研究開発拠点化を図ります。

四日市臨海部工業地帯の石油化学産業などの素材産業群と周辺の加工組立産業との連携を促進し、技術の高度化、新分野への展開を促すとともに、創造力を育みこれを実行する研究開発人材の育成に取り組み、知識集約型の産業構造へと転換を図ります。

<主な事業>

(重)ベンチャー企業創出促進事業【基本事業名：23101 ベンチャー的活動の支援】

当初予算額： 213,902 千円 209,674 千円

事業概要：新事業が継続的に生まれ育っていくような活力ある産業構造を形成していくため、(財)三重県産業支援センターを中心に、個別のベンチャー企業の成長段階に応じた支援を行い、ベンチャー的活動を促進します。また、新たな産業創出を促進する観点から、政策部、環境森林部等とともに、産学連携によるバイオマス・エネルギー産業等の新事業創出を支援します。

(新)みえ新産業創造2号ファンド設立支援事業【基本事業名：23101 ベンチャー的活動の支援】

当初予算額： - 千円 150,561 千円

事業概要：県内の中小・ベンチャー企業の価値創造型ビジネスを支援するため、新たなベンチャーファンド組成にかかる出資金を(財)三重県産業支援センターに補助します。

(重)企業立地促進補助事業【基本事業名：23102 戦略的な企業誘致】

当初予算額： 96,325 千円 2,149,794 千円

事業概要：バレー構想関連産業等の将来的な成長が期待される分野に属する製造施設や研究開発施設の新増設に対して補助を行い、県内への立地や設備投資を誘導します。

(新)新しい産業立地基盤整備促進事業【基本事業名：23102 戦略的な企業誘致】

当初予算額： - 千円 104,000 千円

事業概要：企業活動の基盤となる産業用地が不足しつつあることから、産業用地開発手法のあり方を検討するとともに、県内の大規模産業用地の調査並びに、市町が行う産業用地整備にかかる先行的経費の一部に対する無利子貸付により産業用地の整備を促進します。

(重)燃料電池実証試験等を活用したモデル地域づくり事業【基本事業名：23103 研究開発機能の強化】

当初予算額： 215,757 千円 70,687 千円

事業概要：燃料電池の実証試験等への支援を行い、地域への燃料電池技術の集積を進めるとともに、情報収集や発信などの取組を進めます。また、新たな国プロジェクトを誘致するとともに、水素エネルギー社会を構築するため、地域資源と新エネルギーをベストミックスした燃料電池活用モデルを検討します。

(重)知的ネットワーク形成事業【基本事業名：23104 産業集積基盤の整備】

当初予算額： 25,257 千円 16,470 千円

事業概要：「燃料電池」「ロボット」などの基盤技術の確立を図り、新産業の創造を促進するため、研究開発機能強化を図ります。このため、国内外一線級研究者との連携や研究開発人材の育成を進めるとともに、地元自治体や産業界と協働して、研究開発を促すための仕組みづくりを進めます。また、環境と経済の両立を可能とする社会を構築するため、エコプロダクツの開発など具体的な手法の検討を進めます。